

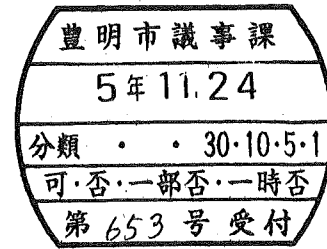
<参考>様式第2号

令和5年11月24日

豊明市議会議長 殿

行政等視察報告書

議員名 毛受 明宏



令和5年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
令和5年10月24日	広島県 廿日市市	「議会用タブレット端末の導入」について 添付：報告書

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

令和 5 年度 会派清和 行政視察

実施日 令和 5 年 10 月 24 日(火)・25 日(水)・26 日(木)

視察先 広島県廿日市市・福岡県北九州市(全国市議会議長会研究フォーラム)

出席者 毛受明宏 青木けんじ 岡島ゆみこ

広島県廿日市市 議会タブレット端末の導入について 廿日市市役所

廿日市市が議会タブレット導入に至った経緯として

○タブレット導入による効果と可能性として

情報伝達の迅速化

情報の共有化

ペーパーレス化

利便性向上

事務作業の効率化

○導入までの経過

平成 26 年の他県の視察を封切に、平成 28 年の検討項目に「タブレット端末を使った議会運営」を加えた。その後も他県他市の議会を視察し、そのガイドラインを参考に規定などを協議⇒ま
とまらず、再度各会派の意見をまとめる。改選後の議運で導入方法について申し送る。

改選後⇒平成 30 年 6 月導入に向けて、機器、OS、システム等の検討

プロジェクトチームを立ち上げ研修会を進める。⇒【sidebooksの体験】

平成 30 年 9 月定例会で試験運用⇒12 月議会で本格運用開始

令和 4 年 9 月 1 日タブレット端末更新(PRO12.9インチ)

○通信環境の確保・電源の確保

・議会棟内の Wi-Fi 環境の整備。タブレット端末の仕様を Wi-Fi 環境下では許可、4G 回線使用は緊急時以外の使用は避ける。

・1 人当たりのパケット通信料は 2 ギガ/月、動画などで契約パケットオーバーは実費負担。

○運用状況

平成 30 年 9 月定例会

議案等すべて、紙+データ

一般質問時の提示資料をデジタル化

平成 30 年 12 月議会

議案等すべてをデータ化

事務局から電子データの一斉送信

すべてタブレットで閲覧⇒紙資料無し

例外として

議事日程・次第書⇒議事運営上、進行状況が分かりにくく議事日程はデータありで紙配布
予算・決算書⇒付属資料や冊子配布あり、審議審査も冊子ベース

冊子媒体は各自が使いやすい方を選択

○導入後、活用

議会事務局から FAX をすべてタブレット(プラスメッセージ)令和 5 年からメールでも同時配信
配信するものは(特定フォルダ格納)⇒招集通知、執行部から情報提供、委員会資料等のデータ
ーを sidebooksへ

《メリット》一斉配信のため情報伝達がスムーズに
《デメリット》データ確認のタイミング格差

○導入後

全額公費負担から政務活動費で全額負担(令和 31 年 4 月から)

○効果として

紙資源の節約、議員連絡、印刷について、事務量が大幅低減
紙とコピー代が半減

○今後の課題

議場 Wi-Fi 環境(繋がりにくい時も)、使用頻度の個人差、複数資料の同時閲覧不可、携帯には
重いなど

【感想】

思っていた以上にスムーズなタブレット端末導入と感じた。効果は予想通り。

【まとめ】

視察に入る以前から使用頻度の個人差や操作の把握など、出てくると思いお聞きしてみたが、それ
は何処のどの議会にもあるように感じた。

当市においても、当視察と同時期に 3 社のシステム体験会が行われ、廿日市市が導入する

sidebooksもその一つに入っていた。操作性は使ってみることが一番だが、当市議員の中でも様々な意見があり、絞り込みが大切なところだと思います。

